

令和7年度 予算特別委員会 審議ダイジェスト

変化する時代における持続可能な町づくりへの挑戦

2025年3月18日 開催



新徳町委員会

3つの主要論点

社会基盤の強靭化



- 大型車両と道路維持
- 旧合板工場用地の取得

教育環境と生活の質



- 学校給食費の改定
- パークゴルフ場の獣害対策

財政の持続可能性



- 国民健康保険税の税率改正
- 将来負担と基金の活用

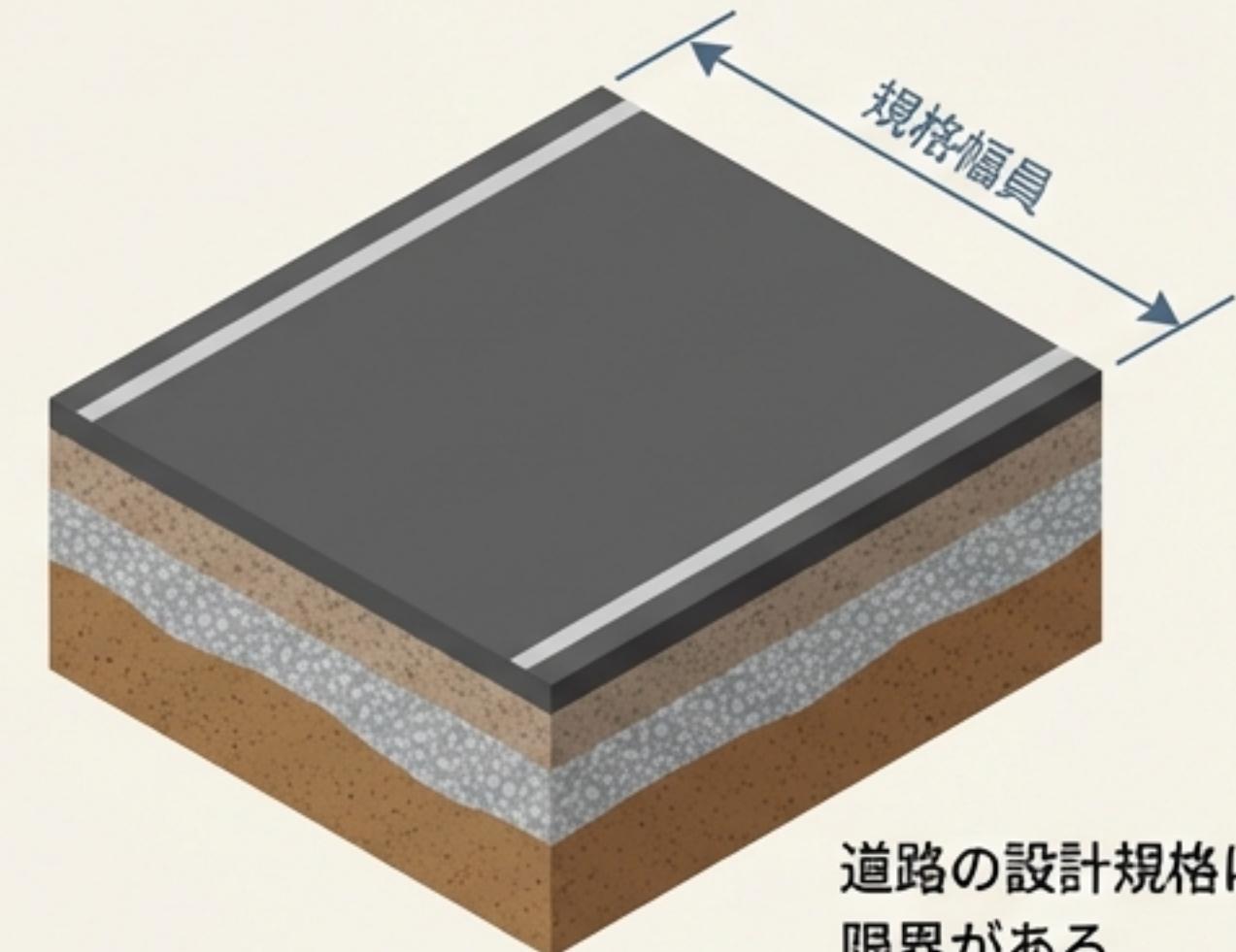
農業の大型化と道路維持のジレンマ

The Pressure



農作業機械の大型化・
海外製車両の増加

The Reality



道路の設計規格には
限界がある

町の考え方：「過度に大きな道路は作れない」

対策：特殊車両の通行許可制度による管理と、事前の協議・連携

気候変動と人手不足への対応



夏場の気温上昇により、
雑草や雑木の成長が加速



道路維持職員8名
+ 委託作業員
vs 広大な管理範囲



戦略的シフト：直営（手作業）から
機械化・外部委託へ

- 草刈り：機械式ロータリー車での作業
(289km)
- 支障木伐採：400万円計上



旧「イージーベニア」工場用地の戦略的取得

現状 (Current)

- 30年間の管理停滞
- 建物の老朽化・景観悪化・防犯上の懸念

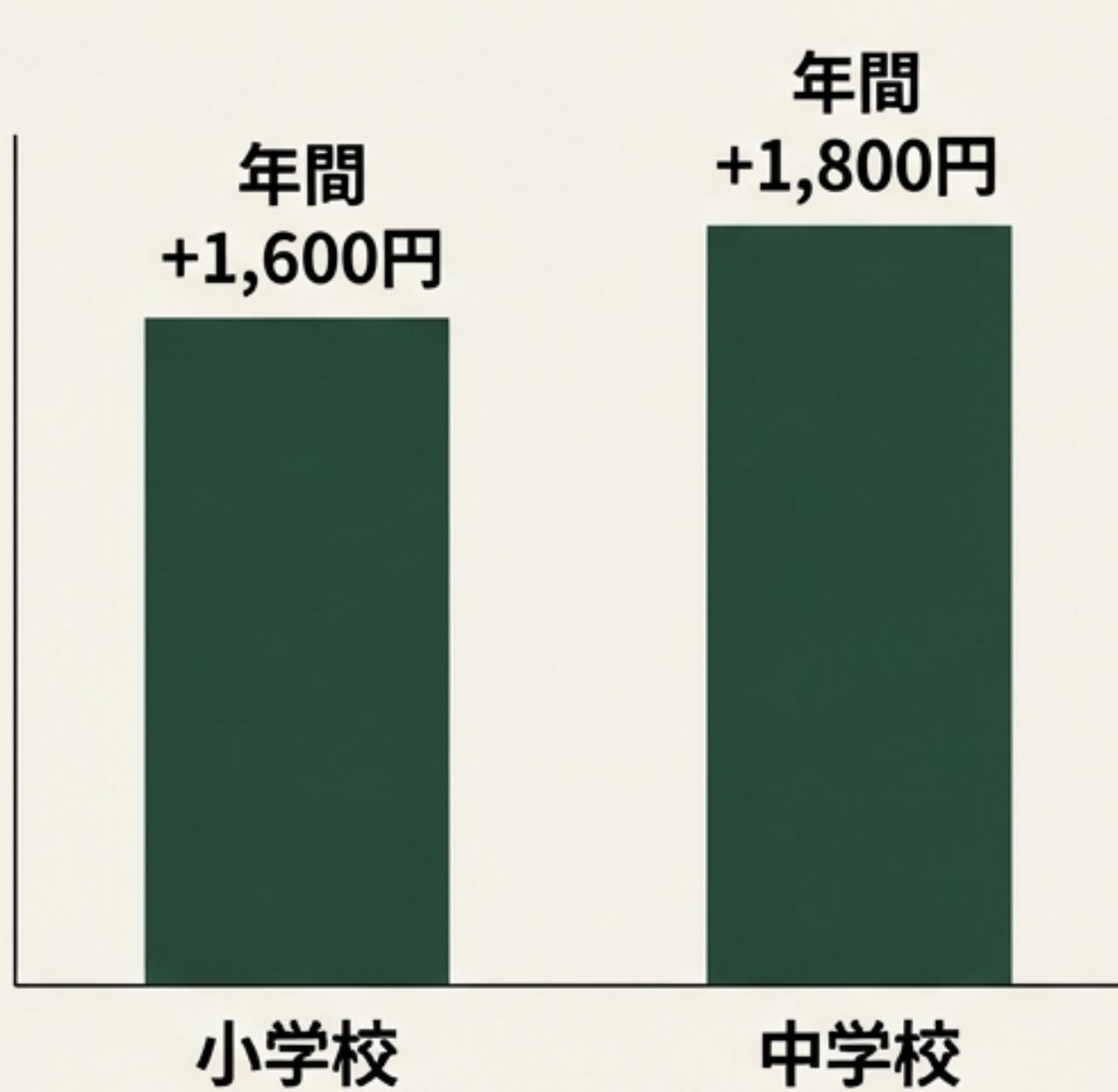
取得価格：3,798万円

活用ビジョン (Vision)

- 短期：車両センター代替地、雪捨て場
長期：企業誘致、物流拠点

「取得後は遊休施設にならないよう努める」

学校給食費の改定と受益者負担



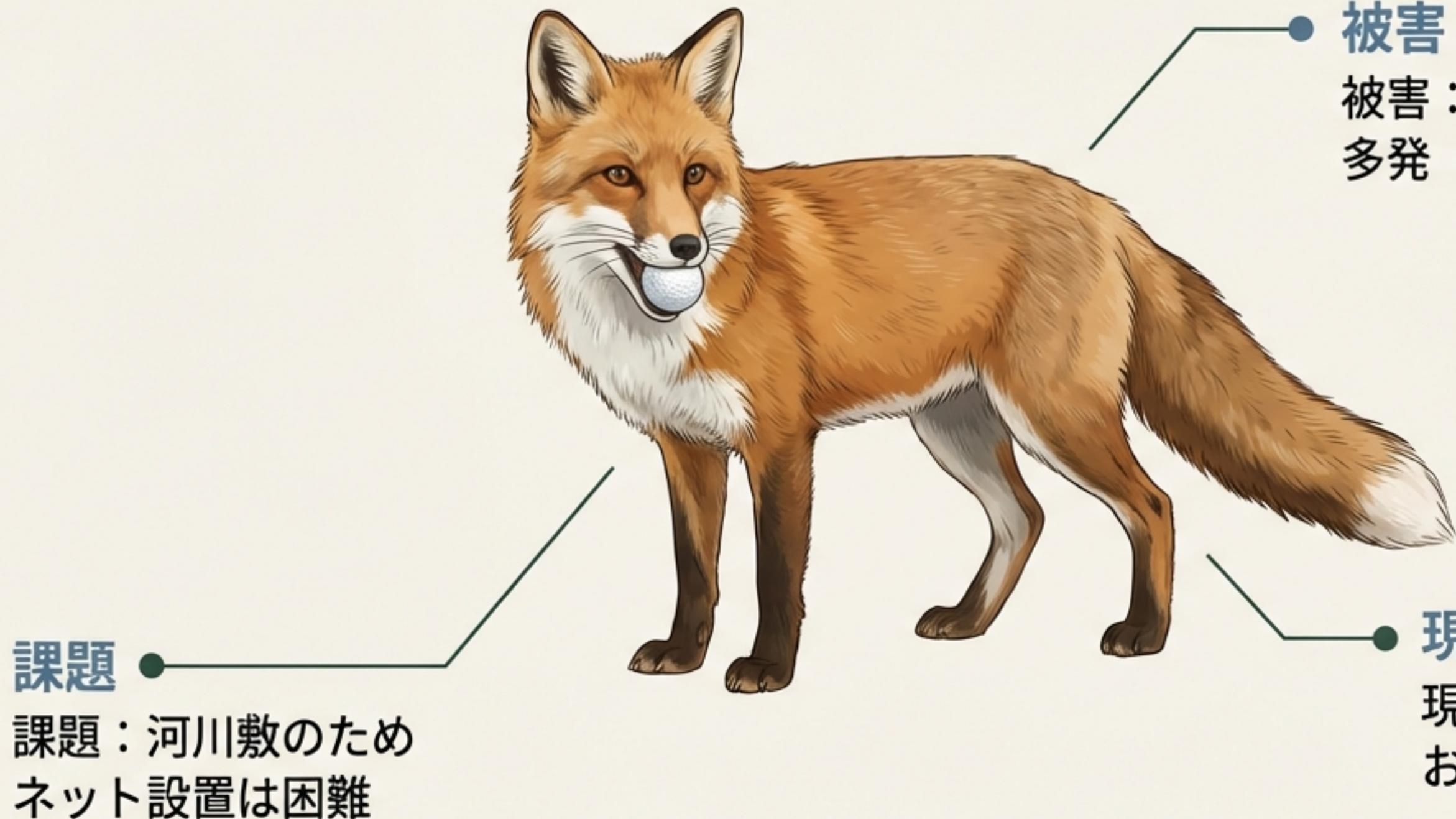
理由：物価高騰による材料費の上昇

疑問：公費負担（完全無償化）
は できないのか？

回答：「受益者負担の原則」
食材費は保護者負担、人件費・
施設費は町が負担。

※別途、子育て世帯特別給付金による支援を実施

パークゴルフ場：芝の管理と「キツネ」被害



課題

課題：河川敷のため
ネット設置は困難

被害

被害：ボールの持ち去り
多発（1個約3,000円）

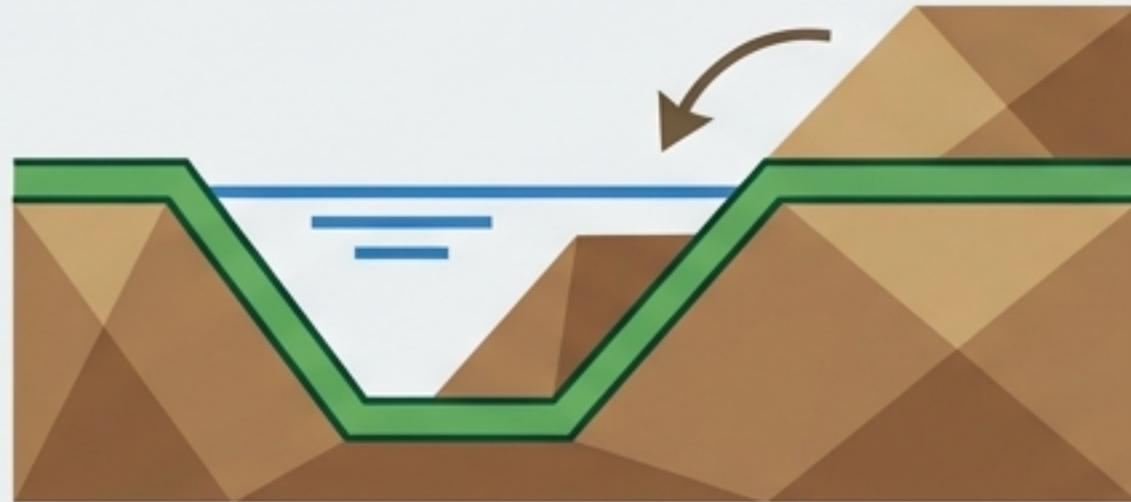
現状

現状：キツネが人慣れして
おり、火薬鉄砲も効果薄

※猛暑と台風による芝質の低下への修繕も実施

安全対策と住民サービスの拡充

安全対策：棒等池（ぼうとういけ）の埋め立て



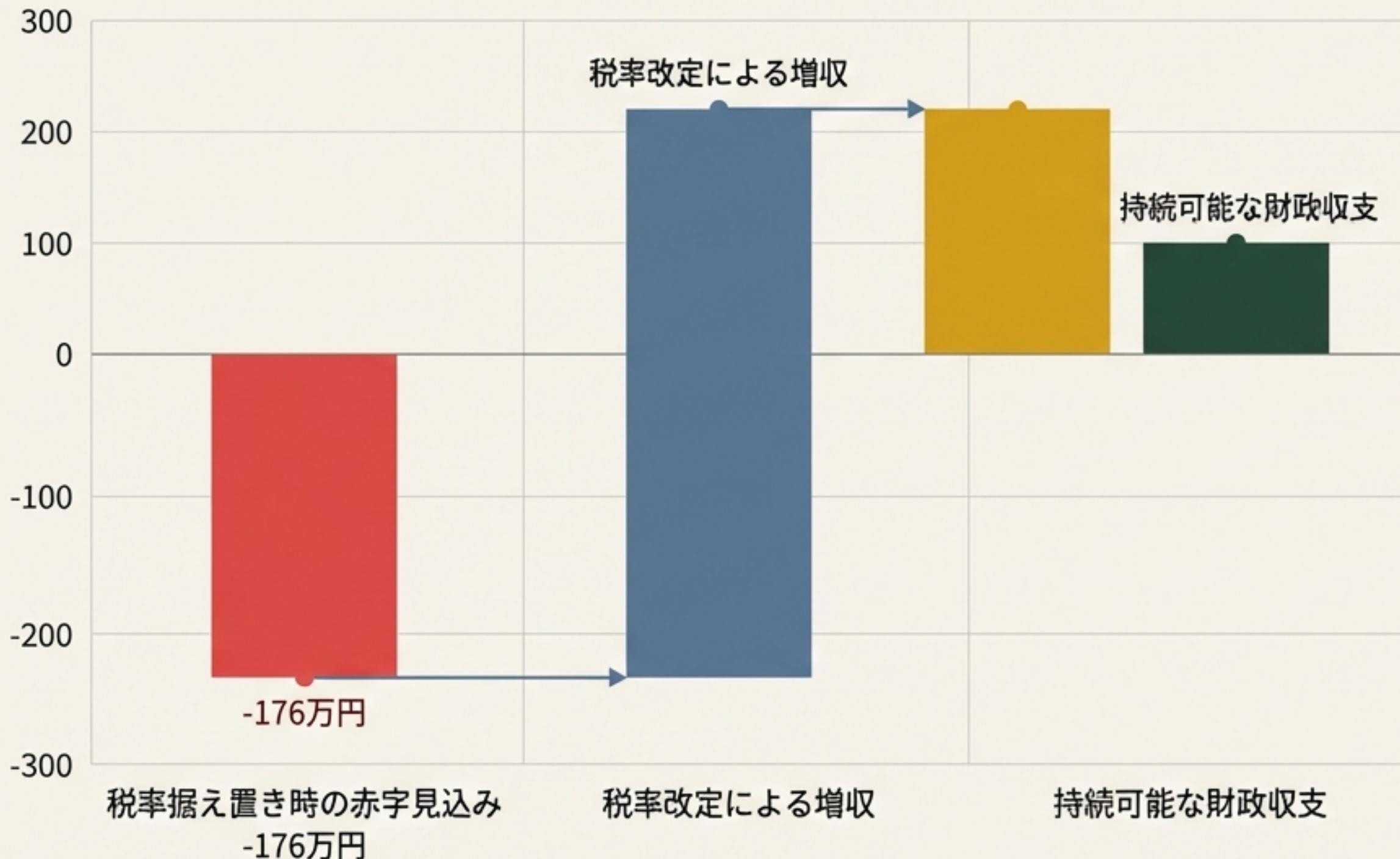
- 人造池の老朽化による危険防止
- 今後は臨時駐車場として活用

サービス：移動図書館車の活躍



- 11ヶ月で延べ2,040名利用、4,923冊貸出
- 働地（トムラウシ等）への重要な文化インフラ

国民健康保険税の改正：持続可能な制度へ



基本方針

- 「安易な基金取り崩しは将来のリスク」
- 基金残高：約5,600万円（将来への備え）
- 北海道の標準保険料率に合わせた改定を実施

令和7年度予算の決定事項まとめ

投資（未来への施策）

- ✓ 旧合板工場用地の取得
- ✓ 道路・河川の機械化維持管理
- ✓ 危険な池の埋め立て

調整（持続可能性の確保）

- ↑ 学校給食費の引き上げ（物価高対応）
- ↑ 国保税の引き上げ（全道統一化へ向けた措置）



目の前の負担と、 将来への投資のバランス。

新得町は、限られた財源の中で「安心」と「成長」の両立を目指します。